

Contents

- 巻頭言 質の高い「問い」

- **Topic** 第 7 回 福井 CST 認定証書授与式を
挙りました

- **Pick Up!** 第 14 回福井 CST 公開セミナー開催
学校インターンシップ

- **受講者だより** 「編集者から見た日本の教育の方向性」
「神奈川 CST 協会第 5 回研修会 2017」

- お知らせ 平成 30 年度
福井 CST 養成プログラム受講者募集

巻頭言 質の高い「問い」

福井県教育庁 企画幹 淵本 幸嗣

新学習指導要領が実施されるにあたり、育成を目指す資質・能力が「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱に整理されました。

理科における資質・能力の育成のために重視すべき学習過程として「自然現象に対する気付き」、小学校では「問題の見だし」、中学校では「課題の設定」があります。特に、「問題の見だし」「課題の設定」は、主体的な問題解決の活動を充実させるために重要な学習過程です。「気付き」が子供たちの知的好奇心をくすぐり、「問題・課題」すなわち「問い」に昇華し、それを解決するために調べることで確かな知識になっていくとともに、さらに知的好奇心が高まり、深い学びにつながります。

福井の子供たちもつ知的好奇心には目を見張るものがあります。県では、その知的好奇心を育てていくために、今年度南部陽一郎記念ふくいサイエンス賞では

奨励賞と小学生部門を設けました。また、平成 30 年度は宇宙への興味・関心を高めるために、NASA や国内の宇宙関連施設への研修希望者を募る予定です。平成 31 年 6 月に福井市で開催される「第 32 回宇宙技術および科学の国際シンポジウム (ISTS) 福井大会」や平成 32 年度に打ち上げを目指している「県民衛星」等、県内では知的好奇心を刺激する催しが多く予定されており、科学的機運が高まっています。

質の高い「問い」がたくさん出てくる授業が求められている中で、高い専門性を持った CST の先生方には、福井県の理科教育の推進役として、それぞれの学校や地域で御活躍いただいています。今年度、福井 CST 養成・支援事業共同実施機関である県が実施した「小学校教員理科指導力向上研修会」では、CST の若手の先生方に授業を公開していただき、研究会では授業の組み立て方や実験のコツなど教示いただきました。大変好評で、来年度も行う予定です。

来年度も CST 事業と協働し、本県理科授業のなお一層の向上を目指し、取り組んでまいります。

Topic 第 7 回 福井 CST 認定証書授与式を挙りました

平成 30 年 3 月 23 日 (金)、福井大学 文京キャンパスにて、第 7 回福井 CST 認定証書授与式を挙りました。認定を受けたのは、1~2 年間にわたる CST 養成プログラムを修了した、中級 CST 受講者 (大学院修了生) 2 名、上級 CST 受講者 (現職小学校教諭) 2 名の計 4 名です。

これまでも、そしてこれからも、各地域の CST や CST 養成・支援機関と連携をとり、それぞれの所属する学校や地域の理科教育支援のために様々な場面での活躍が期待されます。



平成 29 年度認定 福井 CST

上級 CST (福井)

越前市吉野小学校 長谷川毅
坂井市立東十郷小学校 寺井澄人

中級 CST (福井)

養成プログラム修了 清水脩平
養成プログラム修了 多田禎秀

(敬称略 所属は平成 30 年 3 月 23 日現在)

第 14 回福井 CST 公開セミナー開催

11月11日(土)、福井大学文京キャンパスにおいて第14回福井CST公開セミナーを開催し、特別講演や口頭発表、ポスター・ワークショップを行いました。

プログラム

● 特別講演

「平成29年3月公示小・中学校学習指導要領のポイントと今後の理科教育の動向～地球領域を例として～」

大分大学教育学部 教授

(文部科学省初等中等教育局

教育課程課 教科調査官を併任)

三次 徳二



● ポスター・ワークショップ

高校生対象福井プレカレッジにおける粒子領域の取り組み

中級CST養成プログラムにおける植物単元の教材開発

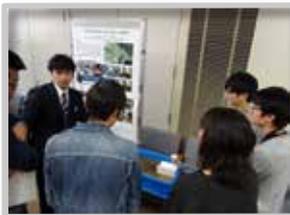
高校生対象福井プレカレッジにおける生物分野の取り組み

レンズ学習教材の開発と活用

加速度センサーとトランポリンを用いた加速度実験の考案

扇状地形成実験教材の開発と高校生を対象とした教育実践

iPad Proを用いた「Metamoji Classroom」によるICT授業実践



『学校インターンシップ』

管理職コメント 福井市森田中学校

学生がCSTとして学校現場で学ぶことは、とても有意義なことだと考えます。教員の授業を参観したり、教員の授業準備やアシスタントを行ったりすることなどで、みるみるうちに自分のこととして捉えることができました。



上級CSTコメント 福井市本郷小学校

授業観察や学習支援等に入ってもらう、児童だけでなく授業者も大変刺激を受けました。観察実験の準備や後始末も丁寧に行い、教材研究にも熱心に取り組んでいました。「川のはたらき」の学習では自作教材をつかうことで児童の理解も深まりました。



初級CST受講者 越前町立朝日中学校

研究授業では、黒板の使い方や言葉遣い、文字や色の配慮といった様々な反省点が出てきた。また、教師が書いた言葉や文字の配列などが、生徒の理解に影響を与えている場面があったため、生徒がどのように見て、とらえるのかを意識しながら板書計画を立てる必要があることを学んだ。



受講者だより

「編集者から見た日本の教育の方向性」 2018.1.17

福井大学文京キャンパス (上級CST受講者)

まず今回の講座で、教育改革2020に向けた課題が、全ての校種で存在するを知ることができた。これからの教員には限られた時間、人員、予算の中で、自らの力を研鑽していくことが求められる。自分の所属する小学校では、普段から授業を見せ合う機会や低中高に分かれての校内研究会、新学習指導要領に向けた校内研修会など行っている。自分自身もその中で、理科の授業や実験についての研修を行っている。教員の持つ互いの知識を教え合う場を増やすことで、より効率的に教員全体の力を伸ばしていくように取り組んでいきたい。

「神奈川CST協会第5回研修会2017」 2017.11.4~5

(初級CST受講者)

1日目は海洋研究開発機構(JAMSTEC)の本多牧生先生による講演と浅原先生による教材「回路の達人」の紹介、2日目は生命の星・地球博物館の山下浩之先生による箱根の土地のつくりについての巡検が行われました。私たちは、どのように地球の環境と変化に付き合い、そしてどのようにそれを子どもたちに伝えるべきなのかについて考えさせられました。



お知らせ

平成30年度 福井CST養成プログラム受講者募集

応募に関する詳細はWebサイトをご覧ください。

● 上級CST養成プログラム

応募資格

- ① 小学校教諭または中学校理科担当教諭であって、実務経験が7年以上(専修免許取得者は5年以上)の者
または、初級・中級CSTであって、上級CST認定年度末時点において実務経験5年以上となる見込みの者
なお、実務経験には常勤講師の期間も算入できるものとする
- ② 勤務時間外を中心とした2年間のプログラムに参加を希望する者
- ③ CST資格取得の後、上級CSTとして活動する意志がある者

● 中級CST(現職)養成プログラム

応募資格

- ① 小学校教諭または中学校理科担当教諭であって、新採用後5年未満の者
- ② 勤務時間外を中心とした約2年間のプログラムに参加を希望する者
- ③ CST資格取得の後、中級CST(福井)として活動する意志がある者
- ④ プログラムへの参加に際し、所属機関長の了承が得られる者

募集日程(いずれも)

応募期間 4月9日(月) ~ 5月21日(月)

面接日 5月26日(土)

🌻 講座情報

5/20 LEGO ロボットでプログラミング 実技(福井県児童科学館)

6/9 初夏の砂浜で生きものを探してみよう 実技(福井県海浜自然センター)

CST News Report No.22 2018.3.31 発行

編集・発行・印刷 福井大学CST企画運営事務局

〒910-8507 福井市文京3丁目9番1号 ☎ 0776-27-9928

✉ cstfukui@f-edu.u-fukui.ac.jp 🌐 http://www.cst-fukui.net/

本事業の一部は「地(知)の拠点整備事業」の支援を受け実施しています